

新しい豊かさ協創3 スマートライフ推進協創プロジェクト(主担当部局:雇用経済部)

プロジェクトの目標

二歩先を見据えて、環境・エネルギー関連分野の技術の活用やエネルギーの効率的な利用を図りながら、ライフスタイルや生産プロセスなどあらゆるシーンで変革を促す取組を進め、4年後には、環境負荷を減らしながら、県民の皆さんが豊かさを実感できる「スマートライフ」への転換が進んでいます。

プロジェクトの数値目標

目標項目	23年度	24年度	25年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県民の皆さんや企業をはじめとしたさまざまな主体が連携して取り組むプロジェクト数(累計)	—	7件	13件	25件
	—	—	—	—
目標項目の説明				
【目標項目】 「クリーンエネルギーバレー構想」などの中で取り組むプロジェクト数				

進捗状況(現状と課題)

- 平成24年10月1日に、産学官で構成する「みえスマートライフ推進協議会」を発足しました。今後とも、産業界、市町をはじめ多くの関係者と新たなビジネスモデルや社会モデルを発掘していくためのアイデアや知恵を集結させ、具体的なプロジェクト化を図っていくことが必要です。
- 塩害対策型太陽光発電システムの研究や全固体ポリマーリチウム二次電池の研究、また自動車の軽量化等に向けた「複合プラスチック」や「金属材料」の研究会を県内中小企業、高度部材イノベーションセンター等と連携して進めています。今後とも、環境・エネルギー関連産業の集積と育成をめざし、「クリーンエネルギーバレー構想(仮称)」を策定するとともに、中小企業への共同研究に向けた技術支援や情報提供などを通じて中小企業の同分野への進出を促していくとともに、環境・エネルギー関連分野に関する県内の設備投資を支援していくことが必要です。
- 太陽光発電について、木曾岬干拓地へのメガソーラー事業を進めています。その他県内のメガソーラー事業は固定価格買取制度が平成24年7月にスタートし、民間企業による新たなビジネスへの参入が進んでいます。今後とも土地の有効利用の観点やメガソーラーに取り組む事業者のニーズを踏まえた市町との連携した取組を進め、さらに将来実用化が期待される洋上風力などとともに地域活性化につなげていくための調査、検討が必要です。
- 木質バイオマスの安定供給体制づくりを促進するため、県内9地域の「地域林業活性化協議会」に木質バイオマス推進員を配置するとともに、県内の林業関係者を対象に、木質バイオマスの安定供給体制づくりのためのセミナー(3回)を開催しました。今後も、安定供給体制づくりに向けた供給事業者の拡大とともに、発電や熱利用など木質バイオマスのエネルギー利用の拡大に取り組む必要があります。

- ・ 県内中小企業の既存技術を生かした省エネ技術等の発掘については省エネ効果が高い試作開発に対して支援をしています。今後さらなる発掘をしていくために、地域での取組や企業における省エネ推進の取組を通じて、地域の活性化や企業の新分野展開等につながるような取組を進めていく必要があります。
- ・ EV等を活用した低炭素なまちづくりを行うため、公募により伊勢市をモデル地域として選定し、さまざま主体が参画する「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」の設立を行いました。

平成 25 年度 の 取組 方向

企業、大学等の産学官で構成する「みえスマートライフ推進協議会」を核とし、「クリーンエネルギーバレー推進部会」、「新エネルギー導入部会」及び「地域モデル検討部会」の研究会・プロジェクトを運営し、防災対策、観光振興、健康・医療など地域のニーズや課題と、環境・エネルギー技術とを結び付け、地域のフィールドにおいてプロジェクト化し、社会的課題解決型の新たなビジネスモデルや社会モデルを発掘していき、新たなビジネスの創出を図るとともに、新エネルギービジョンの5つの戦略的プロジェクトの推進を図ります。具体的には、「みえスマートライフ推進協議会」のもとに、次世代型産業コンビナートを目指す「バイオリファイナリー研究会（仮称）」や中小企業の環境・エネルギー関連分野への参入を促進するための「エネルギー関連技術研究会」、さらには県内企業の技術や地域資源を活用した地域間連携にも取り組むなど、具体的なテーマや目標を掲げた研究会やプロジェクトを立ち上げていきます。特に、バイオリファイナリーについては、四日市コンビナートが有する技術、人材、ノウハウを生かし、コンビナート企業や県内のバイオ関係企業、三重大学等と連携し、環境・エネルギー・食糧問題などの社会的問題を根底から解決する「みえ発のプロジェクト」を検討していきます。

メガソーラー、小水力発電などについて、市町や企業等と連携して、新エネルギーの創出や新しいビジネスモデルの創出に結び付けるための調査研究、開発支援に取り組んでいきます。また、木質バイオマスエネルギーの活用を促進するため、引き続き、「地域林業活性化協議会」を活用し、関係者との連携を強化するとともに、供給事業者への収集・運搬機械等の導入支援や新たな雇用への支援を進め、木質バイオマスの安定供給体制の構築に取り組めます。

さらには、EV等を活用した低炭素なまちづくりを進めるため、「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」において策定された行動計画に基づく各主体の取組を支援していきます。

主な事業

<実践取組1>「環境・エネルギー関連産業の集積と育成」に挑戦します！

雇用経済部

●自動車関連技術高度化支援事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費）

当初予算額：(24) 7, 652千円 → (25) 6, 178千円

事業概要：自動車の軽量化等に向けた研究会（基盤技術及び応用製品開発）において、今後有望視される新たな素材・加工技術等の情報提供や、参加企業の試作・評価等の支援を進めるとともに、自動車メーカー・大手サプライヤーと県内中小企業等との技術交流会等を開催します。

●クリーンエネルギー研究推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費)

当初予算額：(24) 7, 844千円 → (25) 15, 675千円

事業概要：中小企業がいち早く環境・エネルギー関連分野へ進出できるよう、工業研究所が中心となって、「エネルギー関連技術研究会」を通じて、ネットワークの構築・充実に努めるとともに、燃料電池等に係る企業との共同研究を行うことにより、実用化に向けた支援に取り組めます。

●新エネルギー導入促進事業（一部）

(第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費)

当初予算額：(24) 2, 681千円 → (25) 7, 033千円

事業概要：「みえスマートライフ推進協議会」のもと、クリーンエネルギーバレー推進部会を運営し、国際的な市場動向、技術動向などを踏まえつつ、三重県の強みを生かした地域振興につながるプロジェクト化を行い、環境・エネルギー産業の集積・育成を図ります。

●（新）バイオリファイナリー推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費)

当初予算額：(24) - 千円 → (25) 12, 308千円

事業概要：環境、エネルギー、食糧問題などの社会的問題を根底から解決（パラダイム転換）するため、高度部材・素材を強みとする四日市コンビナート企業などを中心とする「バイオリファイナリー研究会（仮称）」を設立し、調査やセミナーなどバイオリファイナリー（石油化学に代わり、再生可能資源であるバイオマスから燃料や化学製品を創出）に着目した取組を行います。

<実践取組2>「地域資源を生かした安全で安心な新エネルギーの導入」に挑戦します！

雇用経済部

●新エネルギー導入促進事業（一部）

(第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費)

当初予算額：(24) 51, 878千円 → (25) 32, 644千円

事業概要：「みえスマートライフ推進協議会」のもと、新エネルギー導入部会を運営し、市町等の新エネルギーの取組や太陽光、風力など地域資源を生かした新エネルギーの導入に取り組む事業者等を支援します。

農林水産部

●（一部新）木質バイオマスエネルギー利用促進事業

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)

当初予算額：(24) 19, 088千円 → (25) 9, 901千円

事業概要：木質バイオマスの安定供給体制を構築するため、森林組合、素材生産業者、林家等による協議会を開催するとともに、チップ原料を供給する事業者や林業者と建設業者の連携事業者の収集・運搬機械導入や新たな雇用の支援などを行います。

●農村地域自然エネルギー活用推進事業

(第6款 農林水産業費 第3項 農地費 7 中山間振興費)

当初予算額：(24) 3,500千円 → (25) 75,500千円

事業概要：農村地域において、農業用水等を利用した小水力発電等の施設整備を進めます。

<実践取組3>「県民の皆さんや企業と取り組む省エネをはじめとした地域づくりの推進」に挑戦します！

雇用経済部

●新エネルギー導入促進事業（一部）

(第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費)

当初予算額：(24) 2,678千円 → (25) 4,044千円

事業概要：「みえスマートライフ推進協議会」のもと、地域モデル検討部会を運営し、新たなビジネスモデルや社会モデルを発掘していくためのアイデアや知恵を集結させ、地域フィールドでプロジェクト化を図り、環境・エネルギー技術を活用したまちづくりに取り組みます。また、中小企業がいち早く環境・エネルギー関連分野へ進出できるように、エネルギー関連技術研究会（省エネ分科会）を運営し、省エネ技術の実用化に取り組む企業のネットワークの構築・充実を図っていきます。

●（一部新）中小企業の課題解決支援事業（一部）

(第7款 商工費 第1項 商工業費 9 工業試験研究費)

当初予算額：(24) 4,500千円 → (25) 6,945千円

事業概要：県内中小企業が抱える課題を解決するため、新たな商品開発の支援や技術支援など、企業のニーズに応じた段階的な共同研究を実施します。

環境生活部

●地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)

当初予算額：(24) 6,025千円 → (25) 6,000千円

事業概要：低炭素なまちづくりを進めるため、企業、団体、大学、行政等が参画した「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」が策定した行動計画に基づく取組を支援していきます。